

特別プログラム：全参加者対象

■ 木村淳先生特別講演

神経伝導検査を行うための考え方・ポイントについてハンズオンを通じて解説する。

入門コース

レクチャー

■ 神経局所解剖 [野寺]

初級者が苦手な腕神経叢と下肢神経の解剖を解説し、局所診断に必要な知識を習得する。

■ 末梢神経伝導検査 [内藤]

神経筋電気生理診断の基本になる神経伝導検査の奥義を極める tips を学ぶ。

■ 針筋電図検査 [叶内]

安静時・随意収縮時の施行の実際を供覧し、安静時・随意収縮時にみられる正常所見と異常所見を解説する。

■ 反復刺激試験 [津田]

反復刺激試験の特性およびピットフォールを理解し、臨床の現場で活用できるよう解説を行う。

■ MEの基本 [正門]

筋電図など医用電子機器（ME機器）を使用するにあたって知っておくべきことを学ぶ。

■ 報告書の書き方 [関口（兼）]

検査結果を正しく伝える報告書の記載方法について学ぶ

ハンズオン

■ 上肢NCSハンズオン [高橋・長谷川・関口（輝）・植松・野田・北國]

正中神経、尺骨神経のMCS/SCSの手技を正しく行えるようになる。電極位置、固定、刺激強度について自分で説明できるようになる。

■ 下肢NCSハンズオン [植松・小林・関口（輝）・宮地・村上・北國]

脛骨神経、腓骨神経、腓腹神経のMCS/SCSの手技を正しく行えるようになる。電極位置、固定、刺激強度について自分で説明できるようになる。

■ 針筋電図ハンズオン [大崎・三澤・吉村・大石・山本・渡辺]

参加者同士針電極を刺入して随意収縮の正しいさせ方と運動単位電位の導出の仕方、波形の評価について学習する。

■ 反復刺激試験ハンズオン [津田・山本・阿部・山内（理）・吉村・大崎]

反復刺激試験の際のアーチファクト除去方法など正しい検査法を学ぶ。

中級コース

ハンズオン

- 上肢 Uncommon NCS ハンズオン [逸見・吉村・山内・中村・平島・大石]
外側前腕皮神経、内側前腕皮神経をはじめとした uncommon な上肢 NCS を自信をもって実施できるようにする。
- 下肢 Uncommon NCS ハンズオン [平島・小林・廣田・村上・逸見・阿部]
伏在神経、浅腓骨神経、足底神経などの uncommon な下肢 NCS を自信をもって実施できるようにする
- 針筋電図ハンズオン [清水・稲葉・内藤・廣田・今井・関口兼]
被検筋ごとのピットフォールや特徴、動員パターンの評価を学ぶ。
- 神経筋超音波検査ハンズオン [渡辺・高松・塚本・野田]
主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ。
- SEP ハンズオン [大石・黒川・山内・高橋・内藤]
機械設定、モニタージュ、きれいな波形の取り方の工夫など実際の測定の仕方を学ぶ。

ケーススタディ講義（発展コースの参加者も一部選択可能）

- 電気診断アプローチ 1・2 [国分・畑中・児玉・関口兼・今井・野寺]
講師がそれぞれ経験した症例を元に、検査の計画、解釈から治療へのプロセスを追体験して、神経筋電気診断の考え方を習得する。（1と2は別内容）

ラウンドテーブル（選択項目）

発展コースを参照のこと

発展コース：選択制

ハンズオン

- 超音波 [高松・能登・渡辺・関口（縁）・水地]
上下肢末梢神経、神経根、骨格筋の超音波による評価法を、実習により習得する
- CTS他 [正門・山内]
手根管症候群などの絞扼性神経障害の臨床像と電気生理検査の選択及び解釈につき学ぶ
- 近位筋針筋電図 [黒川・関口（兼）]
肩甲帯や傍脊柱筋など体幹に近い筋の手技と臨床的意義を理解する。
- voluntary SFEMG [有村（由）・中村]
随意収縮を用いた同芯針電極による単一線維筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ。
- 横隔神経 横隔膜 呼吸筋 [山内（理）・野田]
横隔神経伝導検査や横隔膜針筋電図検査のピットフォールや結果の解釈について学ぶ。
- 絞扼性末梢神経障害/エコー [児玉・長谷川]
手根管症候群、肘部管症候群の臨床像を踏まえた上で診断法としての神経伝導検査と超音波所見について学ぶ。
- MEP [松本・花島・宇川]
経頭蓋磁気刺激法(TMS)を用いた運動誘発電位(MEP)の生理的意味の講義と、中枢運動伝導時間の測定法の基本の実技を行う。
- stimulating SFEMG [桑原・関口（縁）]
電気刺激を用いた同芯針電極による単一線維筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ。
- 小径線維機能評価法 [村上・馬場]
主に痛みに関連する小径神経の評価法を学ぶ。
- MUNE [阿部・小森]
電気生理学的手法を用いて運動単位数の減少を捉え、疾患の病態を理解する方法を学ぶ。

発展ラウンドテーブル (中級コースの参加者も一部選択可能)

- ミオパチー [叶内]
ミオパチーの診察から診断までのアプローチと筋電図専門医の役割について議論する。
- 運動ニューロン疾患 [清水]
ALSをはじめとした運動ニューロン疾患の診断方法、電気生理学的所見、鑑別診断を学ぶ。
- 糖尿病性ニューロパチー [馬場]
糖尿病性ニューロパチーが患者の生命予後に及ぼすインパクトと伝導検査による客観的重症度診断の手順について考える。
- 神経筋接合部疾患 [幸原]
神経筋接合部疾患について、生理学的背景を理解しながらその評価法を学ぶ
- 脱髄性ニューロパチー [国分]
脱髄病理と神経伝導所見の関係、および伝導ブロックの成り立ちを理解する。
- 腕神経叢障害 [園生]
腕神経叢の解剖と腕神経叢評価の検査手技について学ぶ。TN-TOS やそれ以外の腕神経叢障害への臨床応用について理解する。
- 神経根症 [齋藤]
神経根の解剖を理解し、類似症状を呈する疾患との電気生理学的鑑別診断法を習得する。

ケーススタディ講義 (中級コース講義と同一)

- 電気診断アプローチ 1・2 [国分・畑中・児玉・関口兼・今井・野寺]
講師がそれぞれ経験した症例を元に、検査の計画、解釈から治療へのプロセスを追体験して、神経筋電気診断の考え方を習得する。(1と2は別内容)